

西神納地域

まちづくり新聞

第 9 号

発行

西神納地域
まちづくり
協議会

色とりどりの雪像に感動！

西神納地域 雪まつり

2月8日(土)、神林農村環境改善センターとテニスコートを会場に西神納地域では初めて雪まつりを開催しました。

今年も、例年になく少雪で雪まつりの開催が心配されましたが、少ないながらも降雪があり予定どおり開催することができました。

雪まつりでは、開会式後、6チームに分かれテニスコート内に思い思いの雪だるま(雪像)を協力しながら作り、出来上がったカラフルな雪だるまを来賓の竹内市議や工藤校長先生、各集落の区長さんに審査いただき、見事松喜和チームが金賞に輝きました。

休憩時には温かい甘酒が振る舞われ、麴で作った甘酒がなつかしく、おかわりする方の姿も見られました。休憩後は、参加者全員で宝探しゲームを行いました、楽しい時間を過ごしました。

力作ぞろいの雪だるまコンテストの審査結果は次のとおりです。

【雪だるまコンテスト】

- ▽金賞 松喜和チーム
- ▽銀賞 牧目九日市チーム
- ▽銅賞 岩船駅前チーム
- ▽審査員特別賞 南田中チーム
- ▽アイデア賞 新川チーム
- ▽ユーモア賞 四ヶ字チーム



四ヶ字チーム



南田中チーム



新川チーム



牧目・九日市チーム



岩船駅前チーム



松喜和チーム



つながりのある西神納

集落事業紹介



潟端集落では、宝くじの助成金を受け昨年9月に完成した集落集会所に給湯器を設置し、利用する方の利便性向上を図りました。



松喜和集落では、11月3日(日)に集落内のゴミ拾いやお幕場ウォーキングを行い、終了後には芋煮会を開催して住民の交流と親睦を深めました。

岩船町駅開業百周年!

大正3年に営業を開始した岩船町駅が今年11月1日で百周年を迎えます。岩船町駅は、開業当時から地域の発展、生活の拠点として利用されてきました。

なぜ、神林地区にある駅の名前が岩船町なのか? 神林村誌には「岩船の人は鉄道の通ることを望んでいたが、地盤が適さず、現在の場所に決定した。岩船の人は、せめて駅名だけでも岩船の名

を残し商業発展に役立てたいという考えから西神納村へ働きかけ、西神納村は実益を、岩船は名をとることで話し合いがつき、当時の岩船町長と西神納村長が鉄道院総裁に陳情して岩船町駅となった」と記述されています。

今後、岩船町駅の開業百周年を記念し、実行委員会を立ち上げ記念事業を計画する予定です。

～地域の皆さまにお願い～

百周年記念事業にむけ、昔の写真を探しています!
昔の岩船町駅の写真や羽越本線を走っていた電車の写真等をお持ちの方がいらっしゃいましたら、下記事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。



ご意見・ご感想・問い合わせ

【事務局】

◆村上市 神林支所
地域振興課 自治振興室
担当：田村 政和

◆電話・告知端末
66-6122

◆自治振興室メール
k.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp



村上市のホームページでも西神納地域のまちづくりを紹介しています。そちらもご覧ください。

西神納地域まちづくり

検索

<http://www.city.murakami.lg.jp>